

平成28年9月30日

関係者各位

学校法人 工藤学園  
理事長 工藤典子

「平成27年度 愛犬美容看護専門学校 自己点検・評価報告書」の公表について

平成27年度の自己点検・評価結果をまとめましたので、公表いたします。

今後は、結果にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。

今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## は じ め に

学校法人 工藤学園は1978年（昭和53年）に北海道愛犬美容学園として設立されて以来、トリミングや動物看護師の深い知識と高度な技術を身につけるとともに、ペットを通じて社会に貢献できる人材育成に力を注いでまいりました。

2011年（平成23年）、北海道より認可を受け、学校法人工藤学園「愛犬美容看護専門学校」として生まれ変わり、新たな教育を推進することになりました。

本校では、「人とペットがより良い関係で共存できる社会を目指すために、技術だけでなく、他者への思いやり、挨拶や言葉遣い、コミュニケーション能力など、どの社会でも活躍できる「人間力」を養成することにも心がけ、トリマー、動物看護師としてこれからの時代に必要とされる「オンリーワンの人間」を育てていきます。

今までの実績と信頼を活かし、社会から求められる人材を輩出することを念頭に、より良い人とペットとの暮らしができればと考えております。

なお、本校では、平成27年度の自己点検・評価を行い、関係各位のご意見・ご指導を賜りましたので、職業実践専門課程認可校としてこれからの教育に反映させていきたいと考えております。

今後とも、トリマー・動物看護師育成のために、教職員一同、精進を積み重ねて参る所存でありますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 28 年 9 月

学 校 法 人 工 藤 学 園

理 事 長 工 藤 典 子

# 平成27年度自己評価と学校関係者評価報告書

## 1. 学校の教育理念・目標

### 【教育理念】

動物愛護の精神のもと、生き物すべての生命に思いやりの心を持ち、動物達と豊かに共生することを旨とする。さらに、学問・技術の修得にとどまらず、挨拶や礼儀を重んじ、正しい社会性を育む。

### 【教育目標】

- ①専門知識と技術を習得すると共に、自己研鑽に励む人材を育成する。
- ②地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。
- ③職業人としての自立を目指す。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育理念・目標の周知を徹底する。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況（適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）

### （1）評価項目の達成及び取組状況

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3	2	教育理念・目標を公表したが、まだまだ周知不足であると思うので、広報誌や入学要綱、学校説明等で更なるPRをしていきたい。
・ 学校における職業教育の特色は何か	3	4	
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	3	
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2	2	
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	4	

### （2）学校運営

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	4	過年度より情報システム化を検討、実行中であるが、未整備な点が多い。また、企業に対してのコンプライアンス体制に関しては整備を行っているが、対応に不十分な点もあるのかもしれないので、更なる整備の強化を行う。情報公開は適切にされていると思う。
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	4	
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	3	
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	3	
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3	
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4	
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	2	

### （3）教育活動

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	4	キャリア教育は平成26年度より授業に取り入れ対応している。インターシップでは、現場をより感じられるような内容で行っている。カリキュラムや教育方法の工夫・改善は今後も行い、課題となる項目に早急に対応していきたい。また、教員に対しての研修を多く取り入れているので、更なる技術・知識の向上を図っていきたい。
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3	
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	4	
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3	
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	4	
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4	
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	4	
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4	

### （4）学修成果

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 就職率の向上が図られているか	3	4	卒業後のキャリア形成への効果としてカリキュラムを導入。また、卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握し、学校の教育活動へ反映させていく。退学率に関しては平成27年度も対策を行ってきた。
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	4	
・ 退学率の低減が図られているか	3	2	
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3	
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2	3	

## (5) 学生支援

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	日本学生支援機構の奨学金制度や国の教育ローンなどを勧めることが経済的支援体制となっているが、他の支援対策があれば助めていきたい。卒業生の就職に関する支援体制は以前より整えているので、今後もフォローできるようにしていきたいと思う。保護者とはより連携を強めていきたいので、改善策を検討中である。
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	3	3	
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	2	3	
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4	
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	3	
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	2	3	
・ 保護者と適切に連携しているか	4	3	
・ 卒業生への支援体制はあるか	3	4	
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4	

## (6) 教育環境

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3	施設・設備は、現在の状況を再度確認し、補修・修繕を行う。またインターシップの体制は昨年より確立しつつあるので、更なる充実を目指す。防災面は訓練や点検を毎年行っているが、予期せぬ状況に対応すべく、いろいろなパターンを考える必要がある。
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4	
・ 防災に対する体制は整備されているか	3	4	

## (7) 学生の受入れ募集

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4	特になし
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4	
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4	4	

## (8) 財務

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3	特になし
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	3	
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4	
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	

## (9) 法令等の遵守

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4	特になし
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3	
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	4	
・ 自己評価結果を公開しているか	4	4	

## (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3	現在は地域貢献としての活動は清掃活動を行っている。今後は学校として出来る社会貢献・地域貢献を広げていきたい。また、生徒からの要望があれば検討し支援したい。
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	2	
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等々を積極的に実施しているか	3	4	

## (11) 国際交流

評価項目	自己評価	評価委員	課題と今後の改善方法
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	2	留学生の受入れ、派遣を行ったことがないため、留学生への対応に関して不安材料がある。今後は留学生を想定し、法的手続きを含め、対策をしていきたい。
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2	2	
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	1	2	
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	1	2	

# 学校関係者評価報告書

## 1. 学校関係者評価委員

評価委員	所 属
上 西 陽 介	トリミングサロン Doggy Life
千 葉 直 美	DOG SALON pawprint
向 島 彩 香	北海道大学動物医療センター

## 2. 委員会開催日時

開催日時：平成28年8月10日 15：00～  
開催場所：愛犬美容看護専門学校

## 3. 委員会次第

### (1) 開 会

### (2) 理事長挨拶

### (3) 委員長の選出

評価委員全員の意見で上西陽介氏を委員長に選出した。

### (4) 平成27年度自己点検・評価報告の説明

学校側で行った自己点検・評価についての説明を行い、今後の課題や問題点について報告した。

### (5) 委員による意見交換

自己評価報告後、評価委員から改善点や今後の課題について意見をいただいた。

## 1. 評価項目の達成及び取組状況

教育理念・教育目標が策定されたが、認知度はやはりまだまだ低いと思われる。  
現在、入学要項や学校説明会、ホームページでの公開を行っているが、周知のための改善策が必要である。

## 2. 学校運営

昨年同様、コンプライアンス体制は例年同様、今後も重要視してほしいと思う。  
また、情報システム化の業務効率化も簡単ではないと思うので、徐々に進めてはどうか。

## 3. 教育活動

学科別のカリキュラムに関しては、トリマー科・トリマー夜間科は（一社）ジャパンケネルクラブのトリマーライセンス、ハンドラーライセンスを、動物看護科は認定動物看護師資格の取得に沿ったカリキュラムを編成している。キャリア教育に関しては昨年同様、企業と連携を図り、カリキュラムに反映していることは良いと思う。

## 4. 学修成果

卒業後の状況把握がやはり問題かもしれないと思う。  
就職率は維持してほしいが、卒業後の就職活動のフォローも続けてほしい。企業側の要望もきちんと聞いてほしい。  
資格取得に関しては、教員が資格取得に向けてバックアップを行っており、合格率も維持しており評価が高い。この高い合格率と、動物看護科のトリマーライセンスも取得できる点をもっとPRすべきだと思う。  
退学者が多い面は他に対策が必要なのかもしれない。

## 5. 学生支援

進路・就職に対する支援体制は整備されていると思う。  
卒業生に対してもフォローを行っていると思うが、求人に対応できるよう卒業後の状況把握をしっかりしてほしい。  
キャリア教育・職業教育の取組は動物業界のためにも今後もっと広げてほしい。

## 6. 教育環境

現在の設備は整備されていると思うが、将来、老朽化や故障等で支障をきたす可能性がある。その問題を回避するため、常に施設・設備の状況を確認し、毎年整備をしていかなければならないと思う。  
防災に関しては、年1回避難訓練と防災設備の点検を行い消防署にも報告しているが、常に災害に対する意識をもち、どんな状況でもすぐ対応できるようにマニュアルを作成すべきかもしれない。

## 7. 学生の受入れ募集

学生の募集活動は募集開始時期をきちんと守り行っていると思う。募集内容や入学費用等も案内パンフレットで明記しており受験生にわかりやすいように心がけているが、昨年の評価時でも話にあったように資格の合格率や重要性はもっとPRした方が良いと思う。  
また、体験入学や学校説明会では、各学科の魅力や授業内容、学校生活がよりわかるように工夫をしていることは前年同様、評価が高い。

## 8. 財 務

学校の財務基盤は予算計画に基づいて作られている。また、予算・収支計画は理事会・評議員会の承認を得ており有効かつ妥当なものとなっている。  
会計監査も監事が適正に監査を行っており、毎年理事会・評議員会に提出している。  
財務情報公開の体制整備は整備されている。

## 9. 法令等の遵守

個人情報に関しては、在校生、または体験入学生などに説明を行い、対策をとっている。  
自己評価に対する問題・改善点はまだあると思う。今後は更なる改善・工夫を行う必要がある。

## 10. 社会貢献・地域貢献

現在、地域貢献として学校外の清掃活動を定期的実施しているが、今後も学校として貢献・協力できることがあれば、積極的に行ってほしい。  
公開講座・教育訓練の受入れは積極的にして、動物業界を盛り上げるきっかけにしてほしい。

## 11. 国際交流

留学生の受入れ・派遣は実績がないため、本当に受け入れられるのか。また、入学に対する選考基準もしっかり整えるべきである。

### (6) 閉会

今回の貴重なご意見・ご指導を基に、今後は徐々に問題解決・検討を解決していきたい旨を述べ、閉会した。

## 情報公開

### 【1】学校の概要・目標及び計画

●学校名 愛犬美容看護専門学校 所在地 北海道札幌市中央区南9条西7丁目1番31号  
校長名 工藤 公康

### ●学校の沿革・歴史

昭和53年4月 北海道愛犬美容学園 開校  
平成21年9月 北海道愛犬美容学園を礎に私立専修学校設置計画書を提出  
平成22年7月 学校法人 工藤学園 設置認可受理  
平成23年4月 愛犬美容看護専門学校 開学  
トリマー科・動物看護科（2年制）、トリマー夜間科（3年制）  
上級学科のトリマー専攻科（1年制）、トリマー高等専攻科（2年制）を設置

（認定校） 一般社団法人 ジャパンケネルクラブ インターナショナルキャットクラブ  
公益社団法人 日本愛玩動物協会 一般社団法人 日本小動物獣医師会

### ●学校の特徴

トリマー・動物看護師の養成  
JKCTリマー・ハンドラーライセンス、認定動物看護資格、愛玩動物飼養管理士、キャットグルーマーライセンスの取得を目指す。

### ●目標及び計画

（教育理念） 動物愛護の精神のもと、生き物すべての生命に思いやりの心を持ち、動物達と豊かに共生することを旨とする。  
さらに、学問・技術の修得にとどまらず、挨拶や礼儀を重んじ、正しい社会性を育む。  
（教育目標） ①専門知識と技術を習得すると共に、自己研鑽に励む人材を育成する。  
②地域の発展・向上に貢献できる人材を育成する。  
③職業人としての自立を目指す。

### ●その他諸活動に関する計画

（防災計画） 事務局長を責任者とし火災通報・校内放送・消火活動・生徒誘導・救護等、教職員の役割分担を決め、年1回防災訓練を実施している。

### 【2】各学科の教育（平成28年度）

#### ●定員数・修業年限・在籍数

・トリマー科	定員40名	修業年限2年	（在籍数 1年24名 2年25名）
・動物看護科	定員40名	修業年限2年	（在籍数 1年21名 2年22名）
・トリマー夜間科	定員20名	修業年限3年	（在籍数 2年2名 3年3名）
・トリマー専攻科（上級学科）	定員30名	修業年限1年	（在籍数 32名）
・トリマー高等専攻科（上級学科）	定員20名	修業年限2年	（在籍数 1年6名 2年7名）

#### ●カリキュラム

トリマー科 JK C指定のカリキュラムに基づく  
動物看護科 動物看護師国家資格化推進委員会からの教育課程に基づく  
トリマー夜間科 JK C指定のカリキュラムに基づく

#### ●進級・卒業の要件等

学科試験・実習の成績等により判断する。

#### ●取得を目指す資格

JK C公認トリマーライセンス	JK C公認ハンドラーライセンス
認定動物看護師資格	愛玩動物飼養管理士ライセンス
IC C公認キャットグルーマーライセンス	損害保険募集人一般試験

#### ●資格取得・検定合格等の実績（平成27年度）

JK C公認トリマーライセンス C級98% B級98%  
JK C公認ハンドラーライセンス C級100%  
認定動物看護師資格 100%  
愛玩動物飼養管理士ライセンス 2級95% 1級90%  
IC C公認キャットグルーマーライセンス C級98% B級100%

#### ●卒業後の進路（平成27年度）

動物病院・ペットショップ等 就職率93%

### 【3】教職員

#### ●教職員数

獣医師	6名	JK C公認トリマー教士	3名
JK C公認A級トリマー	6名	JK C公認B級トリマー	1名
JK CA級トリマー・動物看護師	4名	JK CB級トリマー・動物看護師	1名
動物看護師	2名		

#### ●教職員（スタッフ）紹介

当校の入学案内に掲載

#### ●教職員の組織・活動

トリマー部門・動物看護部門により組織される。  
研修の参加、トリマー・動物看護師の普及活動を行う。

【4】キャリア教育等

●キャリア教育への取組状況

企業と連携してキャリア教育の充実を図る。

●実習・実技等の取組状況

企業と連携し、実技・実技等の科目における現場実習（インターシップ）を行い、業務の流れや礼儀などを学び、即戦力となる人材を育成する。

●就職支援等への取組状況

社会人の知識を持ち、また資格の取得を前提として、就職斡旋等を行う。

【5】様々な教育活動・教育環境

●学校行事への取組状況

入学式・卒業式 全国トリミング競技会  
 体育祭 ドッグショー・動物愛護フェスティバルの参加  
 海外研修

●地域活動 郊外清掃 等

【6】学生の生活支援

●学生支援への取組状況

学生の健康管理を気をつけ、中途退学者を出さないようコミュニケーションをとり、学生の掌握に努める。  
 留学生に対応できる環境づくりを行う。

【7】学生納付金・就学支援

●生徒納付金の取扱い 入学要項・ホームページに記載

●活用できる就学支援措置の内容等

特待生入学免除制度 社会人特待生免除制度  
 日本学生支援機構 奨学金制度 日本政策金融公庫 国の教育ローン

【8】学校の財務

①平成27年度 資金収支計算書（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	121,694,834	人件費支出	51,153,758
手数料収入	2,803,711	教育研究経費支出	20,350,140
補助金収入	5,158,434	管理経費支出	36,037,343
資産運用収入	6,830	借入金等利息支出	259,115
事業収入	851,000	借入金等返済支出	9,012,000
雑収入	169,282	設備関係支出	262,476
借入金等収入	0	施設関係支出	0
前受金収入	66,025,833	資産運用支出	1,166,340
その他の収入	12,208,765	その他の支出	15,457,755
資金収入調整勘定	-80,342,500	資金支出調整勘定	-3,940,491
前年度繰越支払基金	57,700,089	次年度繰越支払資金	56,517,842
収入の部合計	186,276,278	支出の部合計	186,276,278

②平成27年度 貸借対照表（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	139,871,433	固定負債	6,235,000
有形固定資産	133,155,257	長期借入金	6,235,000
土地	70,000,000	流動負債	73,987,074
建物	54,111,055	短期借入金	5,966,000
建物附属設備	5,308,689	未払金	1,640,491
構築物	406,191	前受金	66,025,833
教育研究用機器備品	1,839,619	預り金	354,750
車輛	1,489,703		
その他の固定資産	6,716,176		
流動資産	58,723,386		
資産の部合計	198,594,819	負債の部合計	80,222,074
		基本金の部	
		第1号基本金	89,353,013
		基本金の部合計	89,353,013
		消費収支差額の部	
		翌年度繰越消費収入超過額	29,019,732
		消費収支差額の部合計	29,019,732
		負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	198,594,819

【9】学校評価

●自己評価・学校関係者評価の結果

ホームページにて公開

●評価結果を踏まえた改善方法

評価結果を基に改善を目指す